

一学年だより

No, 5

令和 8 年 6 月 1 日
太宰府市立太宰府西中学校
文 責 : 江崎 彰泰

言葉は、人生を幸せで豊かにする

～ これまでの自分の言動を見つめ、これからの自分を考える ～

私たちは、日常生活の中で、知らず知らずのうちに、友達を傷つけていることが多いのではないのでしょうか。言葉や行為は、大きな励ましや勇気づけにもなります。しかし、使い方を誤ると凶器にもなりかねません。この凶器の恐ろしいところは、受けた傷の深さや流れ出る血が見えないということです。そして、人は言葉と行為という凶器によって傷つき、つぶされていくのです。

私たちは、この事実に関心を持って、言葉や行為を凶器として使わないように努力しなければなりません。そして、そのことができたとき、口先だけでなく、本当の意味で相手の気持ちができる、そんな優しい世界になると思います。

先日の道徳の授業では、この「言葉と行為」という生徒作文をもとに、差別につながる言葉について考え、これまでの自分の言葉や行動について振り返りました。そして、これから自分はどういう言葉を使い、どのように行動していきたいかを考えました。

嫌な言葉をぶつけば 嫌な言葉をぶつけられ
人に意地悪をすれば 意地悪をされ
嘘をつけば 嘘をつかれ
人を嫌えば 人に嫌われ
人の自信を奪えば 自分の自信も奪われる
悪いものを与えたら それが回り回ってちゃんと返ってくる
いいものを与えたほうがいい
いい言葉をかければ いい言葉をかけられ
優しくすれば 優しくされ
信頼すれば 信頼され
笑顔でいれば 笑顔が返ってくる
いいものを与える生き方こそ ものすごく幸せになる

「言葉は心」

ひとつの言葉で けんかして
ひとつの言葉で 仲直り
ひとつの言葉で 涙を流し
ひとつの言葉で 笑いあい
ひとつの言葉で 頭がさがり
ひとつの言葉で いがみあう
ひとつの言葉はそれぞれに
ひとつの心をもっている

『否定的な言葉』『マイナスの言葉』『汚い言葉』は、相手や周りを嫌な気持ちにさせ、相手を傷つけ、さらにブーメランのように自分自身に返ってきて自分の心も傷つけます。

『よい言葉』には、不思議なパワーが秘められています。言葉の力をみなさんの人生に役立てれば、どれほど素晴らしい未来になるか想像してみましょう。

「ありがとう」「素晴らしい」「いいね」「楽しい」「すごいね」「素晴らしい」「ごめん」「感謝します」「やってみよう」「次はこうしてみよう」という『よい言葉』が、太宰府西中学校の教室や廊下に溢れますように…。

みなさんの感想の中から、いくつかを紹介します。

- 日頃、相手を傷つけるつもりでやっていない行動や言葉でも、深く傷ついてしまうことがあることを知りました。今まで自分も他の人を傷つけてしまったことがあったかもしれないから、これからは言われてどう感じるかなど相手の立場になって考え、自分がされて嫌なことはしないようにします。(1組男子)
- 身の回りにいろいろな病気を抱えている人や人それぞれの感じ方があると思うので、言葉ももちろんけど、行動を意識しようと思いました。そして、笑っているからいいやなど私の目に見えることで判断しないようにします。友達だけでなく、家族にもというか誰にでもそうしようと思いました。(1組女子)
- 自分が発した些細な言葉でも、周りの誰かは傷ついてしまっているかもしれないし、実際に、私も周りの人の言葉で傷ついたことがある。だからこそ、1つ1つの言葉や行動に責任を持ちたいし、常に周りに気を配って、自分の周りの人も傷つかないようにしたい。(2組女子)
- 言葉や行動は、間違ってしまうえば人を傷つけたり、嫌な思いをさせたりしてしまうことがある。でも、正しいことをしたら人を楽しませたり、いい思いをさせたりすることがある。私は、その正しい方に進み、人を楽しませたり、いい思いをさせたりしたい。(2組女子)
- 今日の授業では、中学生の作文をもとに「差別用語」や言葉の使い方を学びました。言葉や行為は、使い方を間違えると凶器となり人を傷つけてしまうことがよく分かりました。私も過去に人にひどい言葉や行動をとってしまったことがあるので、これからは二度とそんなことをしないようにしたいです。(3組女子)
- 人を1番傷つけるのは、言葉と行動だと思いました。使い方を誤れば凶器になり、正しく使えば人を救うものになることを改めて知りました。これからも、人のことを考えながら行動することや人に伝える言葉に気を付けていこうと思います。(3組女子)
- 発言や行動に気を付けて、一度立ち止まって考えてから声を出し、行動に移そうと思いました。人によって考え方も感じ方も違うから、少しずつその人のことを知っていき、1人1人のことをちゃんと考えられるようになりたいです。(4組女子)
- 今日は、言葉、行為について考えました。自分は軽い冗談のつもりで言ったとしても、相手にとってはものすごく傷つくことだったりすると分かりました。聞いて嬉しくない言葉は言わない。何か言うときは、言っても相手が傷つかないかを考えていきたいです。(4組女子)
- 軽く言った言葉でも、一言一言に責任があり、相手を深く傷つけてしまうことがあるということが改めて分かった。今までは、言っただけでいい言葉を普通に言ってしまっていて、相手の気持ちをあんまり考えていなかったけど、これからは、相手の気持ちをしっかり考え、自分が言った言葉に責任を持ちたい。もし言ってしまったら、しっかり謝りたいと思った。(5組女子)
- 悪いことをすれば必ず自分に返ってくるし、いいことをすれば自分にいいことが返ってくるということが分かった。これからは、自然といいことができるようになりたいです。悪いことはしないように、一つ一つの行動を考えながら生活していきたいです。(5組男子)

保護者のみなさまへ

体育会では、子ども達へ温かい声援を送っていただき、ありがとうございました。また、役員として仕事をしてくださったみなさま、本当にありがとうございました。言葉と行為について学習した内容を掲載しています。ご一読ください。また、中間考査に向けて、お子様への叱咤激励をよろしく願います。